

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 清水森林公園	指定管理者名 清水森林組合
1 履行状況	
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。	
(1) 管理運営、施設維持業務	
注意喚起の看板を設置するなど安全を意識した管理運営業務を実施したほか、施設維持管理業務等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。	
(2) 施設利用者数	
指定管理者（第4期）3年目、令和4年度の利用者数は6,470人（うち黒川キャンプ場5,290人、ぬくもりの家493人、講座受講者等687人）となり、前年度の5,391人と比較して20%の増加となった。	
令和2～3年度のコロナ禍において、全33キャンプサイトのうち、半分の17サイトで運営してきたが、令和4年8月より全33サイトの利用に戻ったことで利用者数が伸びたと考えられる。しかし、コロナ禍前の7,000～8,000人台までには至っておらず、夏季キャンプシーズン中、毎週末見舞われた台風や大雨の影響があったと考えられる。	
(3) 事業実施状況	
笑味の家ややませみの湯と共同し、11月に「Goto森林公園・笑味の家、やませみ温泉」を、3月に「密集除けの花見」を開催した。	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
施設内において、設備故障時の修繕対応や、注意看板設置等、利用者からの要望等に対して、可能な限り迅速に対応している。	
【具体的な意見・要望と対応状況】	
意見等：夜遅くまで騒いでいる利用者がいたので注意してほしい。	
対応：今後気を付けるように注意を促した。	
意見等：落下の危険性がある枯れ枝がある。	
対応：速やかに処理し、安全を確認した。	
意見等：トイレにて異臭がする。	
対応：浄化槽のモーターが停止していたため、業者に連絡して修繕復旧した。	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
施設利用者に対して施設の印象を調査した結果、「大変良い」「良い」が90%という高評価であり、利用者の多くにとって良好な施設運営がなされていると判断できる。マニュアルを整備し、利用者から苦情をもらうことがないように努めている。	

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、物価高騰により電気代が増額したものの、概ね予算のとおりには執行されている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

危険箇所へ迅速な対応や、マナーの悪い利用者に対して直接説明して理解を求める等、利用者全体の安全に配慮した運営を行っており、アンケートも高評価であることから、業務は適正に行われていたと評価できる。

令和4年度は、令和5年度に開始する予定のインターネット予約システム稼働に向けた準備を市担当者とともにいった。予約システムを積極的に活用することで、新規利用者の獲得につながることを期待したい。

周辺施設等と協力したイベントの実施や、地元団体と委託契約を締結するなど、地域と密着、連携した運営を心掛けている。今後も、地域振興の拠点として地域との連携による施設運営を期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。